



学院時報

No.101

令和5年10月1日発行

聖ドミニコ学院

幼稚園・小学校

中学校・高等学校

〒980-0874

仙台市青葉区角五郎2-2-14

URL: <http://www.dominic.ac.jp>

TEL 022(222)6337

FAX 022(221)6203

北仙台幼稚園

〒981-0914

青葉区堤通雨宮町11-11

TEL 022(234)3615

FAX 022(342)0555

ドミニコを

愛してくださる方々へ

聖ドミニコ学院理事長兼学院長

佐野 督郎



令和五年七月三日午後一時からの理事会はいつも通り開会の祈り

から始まった。「聖ドミニコ、私達のために祈ってください」の唱声を聞きながら私は十四年前に訪れた聖ドミニコの生地、カレルエガの風景を思い浮かべていた。不意に、私の名前が議長より名指しされた。私は立ち上がって「どなた様からの呼びかけとあれば、お断わりすることもできません。もとより微力ではありますが、誠意をもって職責に当たります」と挨拶をしていた。

というわけで、本年七月三日付で学校法人聖ドミニコ学院理事長学院院長に任命されました佐野督郎と申します。かつて八年ほど聖ドミニコ学院高等学校の校長を務めさせていただきました。理事長としては経営の安定に努めること、学院長としてはそれぞれの校種で

学ぶ子供たちが日々の充実と明日への希望が持てる教育環境を用意すること、職員が誇りを持って明るく働ける職場環境を整備すること、に尽きると考えます。そのため、具体的な行動を熟く、仔細に、迅速に進めて行く覚悟です。保護者の皆様、同窓生、後援会の皆様、ドミニコを愛してくださる多くの皆様、どうかよろしくお願い申し上げます。

聖ドミニコ学院の歴史を

感じながら

学院長補佐 千葉 律之



令和二年に指導主事として一年間お世話になりました。その後

いったん職を離れ、再びお世話になる機会を与えていただきました。本学院は園児・児童・生徒一人ひとりを手厚く指導する学院です。「手厚く」とは、一人ひとりの要望に的確に応え実践することと考えています。実際、教育現場におきましては様々な違う要望が重なる場合が多々

あります。それを丁寧に解決しながら進んでいくのが学院の目指すところと捉えています。その際本校の建学の精神が指針となるということはいうまでもありません。

今、教育界では試験方法の見直しやアクティブラーニングの導入、評価方法の変更など、かつてないほどの大きな教育改革が推し進められています。その背景にあるのは、今まで経験したことのない速さの少子高齢化社会と、それに伴う生産年齢人口の激減であり、さらにグローバル化がますます進展し、予想を遙かに超えたAI技術の進化等にありま

そのような社会の中で、本学院の園児・児童・生徒の皆さんには、どんなことにも積極的に挑戦し、全力で取り組んでほしいと願っています。多様な人々と協働して解決していくことが必要な時代だからこそ、コミュニケーション力を高め、新たな時代に必要となる資質や能力を身に着なければならぬことを自覚し、一人ひとりが目指す、その一助となれば、と思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



時代を駆け抜けて

中学校高等学校校長 Sr 柚木 洋子



新型コロナウイルス感染症が第五類に移行し、連休明けから週

一回の聖堂朝礼が再開いたしました。パイプオルガン響く聖堂に生徒や教員が一堂に会し、共にみ言葉に耳を傾け聖歌を歌う喜びを味わっています。

さて、今年には学院創立七十周年。学院の保護者聖カタリナが生きた十四世紀イタリアも激動の時代でした。社会は分断され、ペストが大流行し、六十パーセントの人が亡くなったと言われます。そんな中、六歳で神秘体験をし、十六歳から神と人への奉仕の道を歩んだカタリナは、ドミニコ会第三会員として自宅で祈り、また多くの病人を訪問します。神と人への熱情と誠意をもって三十三年の人生を駆け抜けました。私たちも聖ドミニコ、聖カタリナのご保護のもと、隣人への配慮を忘れず、持続可能な社会と平和のために、諦めたり無関心であることなく神に信頼して探究を続けたいものです。

聖書のいっば

隠れたことを見ておられる
あなたの父が報いて下さる。

(マタイ6章6節)

施し、祈り、断食のとき、善行への評価を人間に求めてはならないと聖書は語ります。学校の成績、人物評価、勤務評定など、人からの評価を意識して生きるわたしたち。人間社会に属している限り、人からの評価を意識しない方が不自然な気がします。なぜ評価されてはいけないのか。人の目ばかり意識すると、どんな善行も偽善的になってしまう危険があります。人が見ていないと何もしなくなってしまうかもしれません。でも神は隠れたことを見ておられます。その神が報いて下さる。だからわたしたちは善を生きます。真理の標語のもとに生きるわたしたち。人の評価よりも神の愛を信じて正しく生きて参りましょう。

中学校高等学校教諭 菊森 拓也

幼稚園

親子遠足

今年の親子遠足は、「七北田公園」へ行ってきました。子どもたちは保護者と一緒に出掛けるこの日をとても楽しみにしていました。

当日の朝は一時的に雨が降っていましたが、ドミニコ幼稚園のみんなの思いが届いたのか全員集まった頃には晴天に恵まれ、ほっと一安心しました。

遠足では保護者とふれあいながら、芝生の上で「こちよこちよ電車」と「ひつつきもつつき」という遊びをしたり、公園の六箇所を巡るウォークラリーも行いました。保護者の手を引いてスタンプを全部集めたり、友達とかけっこや遊具で遊んだり、公園での時間をそれぞれ楽しんでいました。

たくさん遊んだ後は、芝生の上にシートを敷いて、みんなでお弁当をいただきました。

保護者や友達と園外で一緒に過ごせることに喜びを感じながら、伸び伸びと遊び、充実した一日になりました。



ドミニコ縁日

～祭りだ、わっしょい!!～

六月二十二日・二十三日の二日間、保護者の会主催のドミニコ縁日が行われました。前日から準備が始まり、ホールやプレイルットの装飾や玄関の提灯を見て胸を弾ませていた子どもたち。一日二クラスずつ参加し、子どもたちはペアになった友達と一緒にスタンパリーのカードを見ながら各コーナーを回りました。今年度は「にんじやのがつこう」「アニマルボーリング」「つりばり」「ワニワニパニック」「おタコはん」「シェイクシェイク」「おたからすくい」などがでるかな?くじさがし「おかいものコーナー」の十種類のコーナーがありました。「次はどこに行く?」と友達と相談しながら目を輝かせて思い思いに楽しみ、あつという間の一時間。十分に遊び心も体も満たされた子どもたちの満足そうな笑顔がとても印象的でした。



行事の企画・運営を行ってくださった夏祭りバザー委員会の皆様を始め、携わってくださった皆様のご尽力に心から感謝いたします。



親子で遊びましょう

六月三日(土)に行われた親子で遊びましょうのイベントでは、奥州・仙台おもてなし集団「伊達武将隊」の皆様にお越しいただき、演武や〇×クイズ・踊りを楽しみました。

演武では、音楽に合わせて練り広げられる迫力ある姿に子どもや保護者の方も圧倒され見入っていました。〇×クイズでは、仙台の歴史や伊達政宗についての問題があり、家族で相談して答えを考える姿は真剣そのものでしたよ!豆知識も丁寧に教えていただき、私たちが住む街について考える時間を楽しく持つことができました。最後に「ごさいん音頭」を教えて頂き、伊達武将隊の方々と一緒に楽しく踊ることができました。



また、イベント終了後には、子ども達から日頃の感謝の気持ちを込めて保護者の方へサプライズプレゼントもありました。喜んでいただけたら幸いです。街中で伊達武将隊の皆様を見かけたらぜひ声をかけてみてくださいね☆



サッカー大会

年長さんの一学期の行事であるサッカー大会が六月三十日に行われました。大会前は、サッカー協会からコーチをお招きし、サッカーの楽しさや、ボールと仲良くするために、様々な練習メニューを通してご指導をしてくれました!子ども達もコーチがいることで気持ちも高まり、暑さに負けず、水分補給をしながら一生懸命に練習する姿が頼もしかったです☆また、外遊びの中でも友達同士、サッカーの練習に誘いながら、楽しさを噛みしめて過ごしていました。いよいよ試合本番!!子ども達も、緊張している姿がありましたが、試合中は保護者の皆様や、マリア組、年少・年中の子どもの応援で気持ちを高めながら、懸命にボールを追いかけて、シュートを決めて喜び合う姿や、転んでも立ち上がる姿は、とても印象的でした。



どのクラスも素晴らしく、一人ひとりが活躍でき、また勝ち負けの経験、悔しさ、嬉しさを十分に経験することができたサッカー大会となりました☆



北仙台幼稚園

プール遊び

六月三日(土)「ファミリーデー」を行いました。天候が危ぶまれましたが、当日は子供たちの思いが届き、晴天に恵まれました。保護者の方と一緒に張り切って登園して来た子供たち。満面の笑顔、嬉しいうちながらも恥ずかしくてはにかむ表情、いろいろな姿を見せながら保護者の方と一緒に遊んだりお祈りをしたり触れ合い遊びやゲームなどで遊びました。親子ゲームはクラス対抗戦。年長児は「ジャンケンリレー」。一人がジャンケンに負けるともう一周。負けると何周も走ることになり盛り上がりしました。年中児は「親子トンネルくぐりリレー」。楽しくて二回戦も行いました。年少児は「動物変身ごっこ」。いろいろな動物になって体操をしました。いよいよ帰りのお祈りの時間になり、園で保護者の方といっぱい遊んだ子供たちはなんとも満足そうな表情を浮かべてお祈りをしていました。

保護者の皆様、暑い中ご参加いただきありがとうございました。気持ちよく涼しくて大好きな水遊び、今年は三年ぶりにプールも準備して、子供たちは初めてプールを見てビックリしていました。



ドミニコデー

七月十九日にドミニコデーが行われました。子供たちはドミニコデーをとても楽しみにしていた様子。しかし、当日の天候は曇り時々雨という微妙な天候でしたが、子供たちは元氣いっぱいに出発です！最初は、菖蒲田浜海水浴場。広いビーチは幼稚園のお友達だけの貸切状態。貝をたくさん拾って大はしゃぎすると突然の雨。もつと遊びたかったけれど、泣く泣くバスに乗って次の目的地へ。

次は長須賀多目的広場。アイスを食べて一休み。雨は激しくなるばかり。たくさん楽しそうなお遊具を横目にちよと早いけど、七ヶ浜国際村へ移動し昼食です。おにぎりとおやつを食べて、パワーチャージ！天気予報を見てみると雨が上がつて晴れる模様！長須賀多目的広場へ戻って、念願の自由遊びができました！思い切り走り回って、遊べたところで、またしても雨。

次は番楽しみにしていたうみの杜水族館 出発です！綺麗な魚と楽しいイルカのショーを見て驚きと興奮の連続でした。

束の間の晴れ間をぬって、当初予定されていた日程をすべて行うことができ、終始笑顔いっぱいの子供たちでした！

マリア祭

今年、コロナ禍が明けた初めてのマリア祭でした。昨年は、保護者の参加はありませんでしたが、今回は自由参加という形で行いました。マリア祭に向けて子供たちは、良いことをしたら花を飾る「心の花束」を頑張る姿が見られました。そして、良いことができると先生に「できたよ」と笑顔で伝えていました。

マリア祭当日の朝には、マリア様にお捧げる花を幼稚園に持ってきました。「自分で選んだよ」と先生に伝え、年少児は初めてのマリア祭を楽しみにしている姿がありました。

マリア祭が始まると子供たちは、花を持って入場し、保護者のサークル「コーラス部」の皆様の綺麗な歌声や楽器の音色を聞いて自然と笑顔になっていました。子供たちは、マリア祭のために練習していたお祈りを心込めて行い、そして共同祈願を大きな声で言う姿が見られました。

「マリア祭を通して、マリア様のような優しい気持ちや相手を感じる気持ちになった日」のようでした。これからも、子供たちと楽しい幼稚園生活を送っていきたいです。

ドミニコ祭り

コロナ禍が緩和された中で行われたドミニコ祭り。何日も前から「楽しみだな」と話している姿がありました。祭りは各クラスをゲーム会場にして行われたので絵本バックを持って移動しました。

おたまで使って、スパーボールをすくったり、好きな色のヨーヨーを選んで取ったり、的を狙って輪投げをする子供たち。自分のとったものを友達と見せ合いながら、楽しそうに過ごしていました。その後にはくじ引きをし、景品も貰って絵本袋の中はいっぱい！



小学校

新型コロナウイルス感染症が五類に位置付けられたことにより、規制が緩和されました。聖ドミニコ学院小学校にも、マスクを外して友達と笑い合う日常が戻ってきました。長かったコロナ禍の生活に、ようやく終わりが近づいてきたことを実感します。

さらに今年は、創立七十周年を迎えました。学校行事も昨年度よりもますます盛り上がりを見せています。子供たちがいきいきと学校行事に取り組む姿をお伝えします。

創立の集い

創立の集いでは、全校児童が聖堂に集まり、創立七十周年をお祝いしました。集いの中では六年生が中心となって、学校創立の歴史を、劇やクイズで紹介しました。

最高学年になって初めての大きな行事をやり遂げた六年生の思いを掲載します。

六年 碓石 和奏

最初、六年生だけで発表をすると思っていた時には、これまでの六年生のように発表できるか不安でした。だから、私もそうです。皆も一生懸命練習をしました。私は、発表の台詞自体は短かったですが、創立の集いをまとめる重大任務の司会者として、練習に精一杯取り組みました。

本番では、少し緊張しましたが、司会や発表の台詞もハキハキと話すことができました。皆、全力で頑張っていました。来年の六年生も、創立の集いで大成功を収めることを祈っています。そしてこれから、皆でドミニコの伝統を守っていかうと思います。

六年 栗山 カノン

創立の集いでは、いつもよりドミニコ小について知り、考えることができたと思います。最高学年として準備をし、台詞を覚えてきたのですが、私が驚いたことは二つあります。

一つ目は五人のメールが仙台にきて学校を建てるために二十二年もかかっていたことです。メールの方々の努力や、あきらめずに真理を伝え続ける心は、絶対に見習うべきだと思いました。

二つ目は、メールと子供たちが遊んでいたことです。最初、メールは子供たちとは遊ばないと思っていました。しかし、一緒に遊ぶことで、メールと子供たちとの距離が近くなっていたのだと思いました。

発表の練習を

していたことで、これまで知らなかったことにも気づくことができました。卒業してもドミニコ小の歴史を忘れないようにしたいです。



六年 高橋 紬

最初は、自分の台詞をしつかりと伝えるか不安でしたが、本番でちゃんと発表できて安心しました。ドミニコ小学校が作られて七十周年と聞いて、長い歴史があるのだと改めて実感しました。五人のメールが、「真理」を伝えるために仙台に、そしてこの土地に来ていなければドミニコ小学校は作られなかったことになります。そうならば、今一緒に過ごしている皆とも出会えなかったのかと思うと、五人のメールに感謝したいなと思いました。

また、五人のメールは太平洋戦争などの厳しい経験をしながらも、学校を建てることを諦めなかった決意がとてすごいと思いました。私も五人のメールのように強い意志をもって進めるようになりたいです。



六年 福田 妃那

やり切った！と思うほど私にとっては史上最高の創立の集いでした。練習の時

は発表が上手くいくかととても不安でした。ですが、今回最後にみんなと合わせることができてとても幸せでした。これからも神様に感謝して過ごしていきたいと思っています。

ドミニコ祭り

四年ぶりに一般公開が行われたドミニコ祭り。今年は久しぶりに後援会OB会の皆さんや、保護者の方によるバザー出店もありました。児童の部では、毎年恒例となっているたてわり六色でのお店、「ドミニコ広場」が開かれました。ドミニコ広場の収益金は、経済的な理由で学校に行くことができない青少年に学費を送っている「エスナック里親グループ」を通じてドミニコ小学校が里親になっている、ダガマウィ・ゼルフン君の学費や、国内で被災された方の支援金としています。

ドミニコ祭りは、楽しみながらも誰かの役に立つことができる行事です。四、六年生は店番も担い、訪れた人に精一杯のおもてなしをする姿が見られました。今年度初めて店番をした四年生の感想文を紹介します。



四年 伊原 遠環

四年生になってから、買い物をするだけではなく、出店側として商品売る役割をもち、責任を果たした上でドミニコ祭りを楽しむことができました。

ぼくたちレッドファイヤーは、「全部売り切ること」を目標にしていました。初めて商品売る側になって、たくさんのお客さんたちを誘導したり、水ヨーヨーを拭いたりする作業が大変でした。でも、水ヨーヨーを渡した時のお客さんの笑顔を見ると、とても嬉しい気持ちになりました。そして、頑張った水ヨーヨーが、あっという間に完売して、達成感を味わうことができました。

これからもゼルフン君や、周りで困っている人がいる時には、自分が役に立てることを探して手伝いたいです。そして、ゼルフン君が楽しい生活を送れることを心から願っています。

四年 土山 恵麻

今までと違って、今年から店番役となりました。最初は少し不安でしたが、五・六年生が優しく教え、励ましてくれて、「よし、頑張るぞ!」と切り替えて行動しました。

私は、魚つりの受付を担当しました。「いらつしゃいませ。一回百円です!」「ありがとうございます!」

と、笑顔で頑張りました。そして、会計も手伝いました。会計は、算数で習ってきたことを活かしてやりました。家に

帰ってからお母さんに、

「私、精一杯頑張ったよ!」と、自信満々で言いました。

五・六年生になったら、今年学んだことを次の四年生たちにしっかりと教えて、最高のドミニコ祭りにしたいです。

新任紹介



四年副担任 加藤 礼夏

この度、聖ドミニコ学院小学校に赴任し、四年生の副担任を務めております加藤礼夏と申します。担当している授業は三・四年生の社会科と、四年生の書写です。今年の三月に宮城教育大学を卒業し、四月からは多くの先生方や職員の方々に様々なことを教えていただきながら、児童たちとともに私自身も成長するような日々を送っています。

私は幼い頃から絵を描くことや、ものを作ることが大好きで、高校生の時に美術部に入り、大学で初めて本格的に美術の勉強を始めました。大学の卒業研究では銅版画の制作を行い、卒業後も作品制作に努めています。

高校・大学での美術の勉強を通し、美術では自らの表現だけでなく、鑑賞もま

た表現と同様に重要な行為であると学びました。アート作品には、制作者の知識や技術だけでなく、その人だけがもつ感性や思考、哲学が詰まっています。いわば制作者の人となりそのものが一つの絵や彫刻の中に凝縮されているのです。すると、アート鑑賞は他者を知ることかのように思われますが、そこで終わらないのが美術の面白い部分であると私は強く感じています。

他者を知り、他者の感性や価値観に対して自分がどう感じるのか、どう考えるのかを認識するまでが鑑賞なのです。他者を知ること知り得る自分の存在があり、そこで感じたことや考えたことを、自身の作品に表現していきます。実は、美術において表現と鑑賞は表裏一体なのです。他者の作品を無くして自己の作品は成り立たないことは、他者の存在を無くして自己は成り立たないという人間社会の真理そのものであるように思います。

私は、こうした美術分野での学びや経験を授業や児童たちとの関わりに生かし、アートの見方・考え方から子供の個性の伸長を目指します。そして何よりも、他者への思いやりに溢れた子供を育てていきたいです。人は他者の存在があつてこそ生きていくことができるということを、学校生活の日常においても児童に意識させられるような指導を志して、これから聖ドミニコ学院小学校の教育に携わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

おめでとう合唱団

♪第七十五回全日本合唱コンクール

〔宮城県大会〕

・宮城県合唱連盟理事長賞

・金賞(全国大会出場決定)

♪第九十回NHK全国学校音楽コンクール

〔宮城県大会〕

・金賞(東北大会出場決定)

〔東北大会〕

・銀賞



入試について

【募集人数】

一年生 四十名(男・女)

【願書受付】

九月十一日(月)～十月二十七日(金)

※Web出願となります。詳しくは本校ホームページをご覧ください。

【入試日】

・十一月二日(木) A日程
・十一月三日(金) B日程

中学校

やってみなけりゃ分らない

中学校主任 成毛 祥代

—そう、やってみなければ分からない。私の場合は英語だった。



ドミニコでの高2の夏から一年間、英語圏のカナダに留学させてもらった。英語を話せなかった怒涛の一年。例えるならカナヅチが泳げるようになる感じか。水泳なら一年も掛からないだろう。対して英語は、今思うにたった一年ではきちんと話せてはいなかった。一年掛けて培ったのは度胸だ。

インターネットも無い時代だった。国際電話料金は高く、普通は手紙だが往復で二週間掛かり、返事が来る頃自分が何を書いたか忘れていた。

行った先が田舎だったのも良かった。人口五千もないコミュニティは日本なら村だ。週末は、普段は近くの海で泳ぐとか、誰かの家に遊びに行くしかなかった。周りコミュニケーションを取るのが遊びだった。

もがき続けて一年、何とか犬かき位にはなった。犬かきレベルの英語でも通じたので、それが自信になった。その後他の外国語にも何となく勘が働くのを自覚するようになった。行ってみなければ外国語ができるとは分からなかった。私のその後の人生を大きく変える一年だった。

不安だったステージ発表

一年A組 佐藤 菜月



入学してから緊張の四ヶ月でしたが、クラスメイト、先輩方、先生方とたくさんさんの思い出を作ることができました。私はその中からドミニコ祭を挙げます。

私は軽音楽部に入っていて、ドミニコ祭では部活動の先輩と一緒にステージ発表をしました。私はドミニコ祭で初めてベースを弾くことになり、先輩に優しく教えてもらいながら練習をしました。

そして前日祭が始まり、軽音楽部の出演はまだなのに私はずっと緊張していました。楽器の準備をしながらドキドキしている私に、先輩方は優しい言葉をかけてくれました。

その後、軽音楽部の発表が終わり、ベースを弾き間違えてしまったことを先輩に言う、「間違えても大丈夫。」と励ましてくれました。優しい先輩がいる部に入れてよかったなと思いました。

来年、新しい中学一年生が軽音楽部に入ってきてくれたら、先輩方のように優しく接し、一緒に良いドミニコ祭の思い出を作れたらよいなと思いました。

野外活動を振り返って

二年A組 杉野 水葵



前日はワクワクで寝付かなかった。とうとう待ちに待った野外活動がやってきたのだ。新幹線

で盛岡駅に着いてから、わんこそばを食べた。私はなんと三十七杯も食べた。友達と競争しながら食べることができて、笑いが絶えなかった。

夜、私たちは星空を見ることができた。久慈の夜空にはきらきらと輝く星が広がり、蛍もゆらゆらと光っていた。その景色は本当に美しく感動した。自然の中でこんなに素晴らしい光景を見ることができなんて、本当に幸せだと思った。

二日目には洞窟探検が待っていた。洞窟の中は謎めいていて、ワクワクが止まらなかった。カヌー・カヤック体験で水遊びをする時間もあった。水の上を滑るように進む感覚は、とても楽しくて忘れられない思い出になった。

夜は民泊体験で民家の方々にお世話になった。優しい家族に迎えられ、夕ご飯はバーベキューパーティー。美味しい料理を楽しみながらみんなで笑い、歌い、踊り、楽しい時間を過ごした。

この野外活動で友達との絆が深まり、自然の美しさをたくさん学ぶことができた。また、みんなと先生たちと訪れてみた。



初めての挑戦

三年A組 佐々木 仁菜



私は、初めての挑戦をしました。私が挑戦した仕事は、文化祭実行委員です。私のクラスは

ファッションショーの準備だけでなく、出店の準備も同時に行わなければいけません。食中毒にならないための対策、必要な材料の調達や注文など、みんなで一つを決めなければなりません。前にて仕事をすることが初めてだった私は、失敗することもありましたが、それでも心を折らずに、少しでも役に立とうと、できることを考えて行動しました。今回の挑戦で私は、「責任をもって仕事をする」ということがどれほど難しいかがわかりました。ですが、大人になると当たり前にならなければいけません。そのためには、残りの中学校生活では、もっとたくさんさんのことに挑戦し、当たり前にできるように頑張りたいです。

三年間の大会を終えて

三年A組 稲富 悠花



応援ありがとうございました。私達剣道部は、佐々木和代先生、菅原怜

央先生のご指導の下、全国制覇を目標に日々稽古に励んできました。この夏、全国の舞台で戦わせていただき、全国の壁がどれだけ高いものかということを知らされました。県大会、東北大会はみなさんの応援があり、二連覇を達成することが出来ましたが、全国大会では思

うように試合の流れを作ることが出来ませんでした。そして、決勝トーナメント一回戦敗退ベスト16という結果に終わってしまいました。去年成し遂げられなかった、全国制覇を目標としてやってきた私達にとって、悔しい結果となりました。しかし、全国の舞台で戦わせていただけたこと、どんな結果でも「お疲れ様」と声をかけてくれる方がいることは、決して当たり前のことではないので、これからも感謝の気持ちを忘れずに、邁進していきたいと思っています。

夢の実現



三年A組 稲富 怜花

昨年の全国大会準優勝という結果からプレッシャーを感じることも多かった一年間でしたが、仲間がいたからこそ全国の舞台に立つことができました。全国制覇を目標に練習してきましたが、団体戦ではベスト16で負けてしまい、とても悔しかったです。だからこそ個人戦では、「何が何でも勝つ」と仲間の思いも背負い、戦いました。苦しい試合も多かったのですが、支えてくださった方々に恩返しがしたいと思い、試合をしました。自分一人では掴むことができず、たくさんの応援や支援のおかげで日本一になることができたと思っています。優勝できた嬉しさや感謝の気持ちでいっぱいです。この三年間たくさんの方々に支えていただけたことがすごく幸せでした。

今まで応援ありがとうございました。これからもいい結果を報告できるように頑張ります。

新任紹介

「はじめまして」

一年A組副担任 菅原 千広



ご縁があつて今年度より赴任することになりました、菅原千広と申しました。昨年度までは公立高校に勤務しておりました。実は、中学校に勤務するのは初めてで不安な面もありましたが、今や私自身皆さんと過ごす毎日をもとても楽しんでおります。

専門教科は、理科生物です。中学時代は美術部、高校時代はソフトボール部に所属しておりました。現在は、中学一年理科、高校一、三年生物科目およびバスケットボール部を担当しております。

自分自身の学生時代を振り返ると、勉強に励んだことももちろんですが、いろんな人たちとの出会いを通して大切な仲間や友人ができたことが、私にとって一生の宝物になりました。ぜひ皆さんにも、そういった人たちを見つけて欲しいですし、どんなことにも積極的にチャレンジして欲しいです。たとえ上手くいかなくとも、失敗して何度も試行錯誤して得る経験や知識が自分の役に立つと思います。

少しでも皆さんの過ごす学校生活がより良いものになるよう、私自身も多くのことに挑戦して学び、常に自分をアップデートしていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしく願います！

活躍するドミニコ生

「聖ドミニコ学院中学校」

- 第十六回相馬野馬追旗争奪近県剣道大会
女子団体 第2位
- 第七十五回宮城県バドミントン選手権大会
ベスト16 2年 西村 真愛
- 第三十一回遊佐中学校剣道錬成大会
女子団体 第2位
- 第十回東日本少年剣道錬成大会
女子団体 優勝
功績賞
- 第七十二回仙台市中学校総合体育大会 剣道競技
青葉区 女子団体 優勝
- 青葉区 女子個人 優勝 3年 稲富 悠花
- 青葉区 男子個人 第3位 3年 佐々木 仁菜
- 青葉区 男子個人 第3位 2年 蟹澤 結介
- 第七十二回仙台市中学校総合体育大会 バドミントン競技
青葉区 女子シングルス 第2位 2年 西村 真愛
- 第四十回宮城県中学校内放送コンテスト
朗読部門 奨励賞 1年 大藤 優音
- 第二十七回杜の都中学校選抜剣道大会
女子団体 優勝
- 第七十二回宮城県中学校総合体育大会 剣道競技
女子団体 優勝 稲富 怜花
- 女子個人 第2位 稲富 悠花
- 女子個人 第5位 佐々木 仁菜
- 男子個人 第5位 蟹澤 結介
- 令和五年度東北中学校体育大会 第四十七回東北中学校剣道大会
女子団体 優勝 (二連覇)
女子個人 第3位 稲富 悠花
- 女子個人 第5位 佐々木 仁菜
- 令和五年度全国中学校体育大会 第四十七回中学校剣道大会
女子団体 ベスト16
女子個人 優勝 稲富 怜花
- 第四十七回ふれあい青道展
奨励賞 2年 伊藤 紗瑛
- 令和五年度宮城野山人会学生展
推薦賞 2年 伊藤 紗瑛
- 第七十五回全日本合唱コンクール 宮城県大会
銅賞 音楽部
- 令和五年度第七十三回仙台市中学校英語暗唱大会
奨励賞 3年 南條 圭佑
- 令和五年度社会を明るくする標語コンクール
中学校三年の部 優秀賞 稲富 悠花
- tbcこども音楽コンクール宮城地区大会 中学校 重唱の部
優秀賞 (東北大会出場) 1年 菅野 ひばり
- 第四十四回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール
声楽部門 中学生の部
審査員賞 3年 佐藤 瑛太

中学校生徒募集について

2024年度入学生の募集定員および入学試験概要は以下のとおりです。詳細は生徒募集要項で確認してください

◆募集定員・入学試験概要

定 員	30名(男子・女子)				
試 験 区 分	Ⅰ 期			Ⅱ 期	
試 験 日	2024年1月5日(金)			2024年1月20日(土)	
出 願 期 間	2023年12月1日(金)～2023年12月14日(木) ※土・日は除く			2024年1月11日(木)～2024年1月17日(水) ※土・日は除く	
試 験 内 容	推薦入試	一般入試	スポーツ奨学生入試	推薦入試	一般入試
	・ 面接試験	・ 適性検査[総合問題(筆記と英語リスニング)] ・ 面接試験	・ 面接試験	・ 面接試験	・ 基礎学力検査(国語・算数) ・ 面接試験
	面接試験は保護者同伴となります				
合 格 発 表	2024年1月6日(土)(本校ホームページに合格者の受験番号を掲載)			2024年1月22日(月)(本校ホームページに合格者の受験番号を掲載)	

高等学校

三ヶ月を振り返る

第一学年主任 小野 尚

入学式から三ヶ月が過ぎて、学校行事や中間審査を経験した生徒達の様子を見ると誰もが高校生活を楽しんでいるようです。今回は、鈴嶋先生が「情報」の授業で生徒達に作成させた文章を紹介いたします。



高校生活が始まって三ヶ月、思ったよりも早く時間が過ぎていきました。今までとは環境も生活リズムも変わり、慣れないことが多くて大変ですが、今のところとても充実した生活を送れています。特に印象的だったのは文化祭です。文化祭では放送部として運営に携わることができ、とてもやりがいがありました。しかし、先輩に頼りっぱなしになってしまいうことが多く悔しかったのです。これから沢山のことを吸収し、先輩に安心して放送部を託して貰えるように頑張ります。

勉強に部活動とやる事が多くて疲れることもありますが、これからは楽しんで高校生活を送り、楽しかった！頑張った！と思える三年間にしていきます。

二組 佐藤 愛子(富沢中学出身)

高校生活も三ヶ月が経過しました。その中で私が学んだことは、今まで家族にたくさん支えられて生活していたことです。

私は高校に入学すると同時に寮生活を始めました。今まで家族にやってもらっていたことをすべて自分でしなければいけなく、今までどれだけ支えてもらっていたかを実感しました。

今も家族だけでなく多くの人に支えられて生活しています。それは当たり前のことではないので、その人たちに感謝しながらこれからも生活していきたいです。

二組 千葉 空(登米・中田中学出身)

日々の積み重ねを大切に

第二学年主任 前田 朱実

今年度も後半を迎えました。二年生は自分の将来を具体的に考える時期です。今まで漠然としていた進路や上級生のいた部活動で目標を定めて自ら動くことになりました。また、十二月には修学旅行も控えています。中学校の修学旅行はコロナが第五類になる前でしたから、今回は感染に気を付けて、楽しい思い出が作れることを私たち教員は願っています。

高校生活は行事も大切ですが、やはり日々の積み重ねが何よりも大切ではないかと思えます。毎日小さな努力を続けることはどんな人でも、大人でも苦しいことです。それでも意志を持ち、目標を達成できるように努力することしか自分の夢に近づくことはできないのです。悩んだり、人をうらやんだりすることもあると思いますが、努力はしっかりと自分に返ってきます。卒業を迎えたとき、夢に一步でも近づけたと思えるように二年生の皆さんには頑張してほしいと思います。



最初で最後のドミニコ祭

三学年主任 及川 俊浩

七月七日(金)、八日(土)、今年もドミニコ祭が開催されました。昨年まではコロナ禍の影響もあり校内のみでしたが、今年是有観客でのドミニコ祭の開催となりました。最上学年である三年生にとって外部の方々に見ていただくことが出来る文化祭を経験していないこともあり、企画・準備も手探り状態。唯一経験している我々教員も記憶をたどりながらのアドバイス等を行っていました。それでも自分たちの努力を行っての開催にこぎつきました。

七日は校内のみの開催。文化部や有志団体の発表、クラス毎のファッションショーなどで盛り上がり、体育館は生徒や先生方の熱気もあり、盛り上がりを見せました。八日はついに外部の方への一般公開日。部活動の展



示やステージでの発表、クラスやコース毎の売店などで大いに盛り上がりを見せました。三年生にとって、最初で最後のドミニコ祭は成功のうちに終了しました。

特進生の連携と共に成長した半年間

特別進学コースリーダー 大出 恭史

新年度スタートからの半年間、特進生たちは男女共学一期生たちとともに、各々自身の夢を叶えるために日々精進してまいりました。まず、特進生は日頃から学年の壁を越えて勉強面での交流が盛んです。先日は文理選択に先立って、三年生が後輩たちにアドバイスを行う会を開きました(写真)。先輩の知識や経験が後輩に共有され、高い学問への志向が養われたようです。勉強以外でも生徒たちの頑張りには顕著であり、ドミニコ祭では一・二年生が協力して中華料理のブースを開き、手を取り合って成功を収めました。その一つ一つの料理に生徒たちの絆や協働の精神が詰まっていた。現在、三年生たちは大学入試に向けて勉強を本格化させています。そんな中でも下級生との連携を大切にし、共に成長する姿勢は変わりません。特進生としてのその姿は後輩たちにとって大きな励みとなっています。私たち教員としても、このコースの更なる発展と一人でも多くの生徒たちの夢の実現のため、全力でサポートしていきたいと思っています。



第1回「高大連携授業」について

総合進学コースリーダー 伊藤 崇

総合進学コースでは、一・二年生を対象として、九月一日(金)六・七校時に「高大連携授業」を行いました。この授業は、大学の先生から実際の研究内容や進路について学ぶ模擬授業や体験活動を通して、上級学校に進学するための学習意欲を高めるためのコース行事です。

今回は、講師として宮城大学看護学群教授兼看護学研究科副研究科長である大熊恵子先生に御来校いただき、「看護師の仕事」という内容で授業を行っていただきました。

生徒達は、看護に関するイメージについて考えるところから始め、相手の立場に立って考えることの大切さや一人で判断せず、常にコミュニケーションスキルを高めていくことの必要性について学んでいました。そして看護師になるためには、専門的知識と技術を身につけることは言うまでもなく、誠実さと一生学び続けていく姿勢が大切であるというお話には、看護師希望者はもちろんのこと、それ以外の生徒達も感慨深く聞き入っていました。



幼稚園ボランティア 頑張っています

幼児保育進学コース・未来探究進学コースリーダー 石川 裕之

昨年度から再開した「幼稚園ボランティア」に今年も幼児保育進学コースの三年生と未来探究進学コースの一・二年生(主に子ども教育系志望者)が参加させていただいています。角五郎幼稚園では、夏休み中の預かり保育から各種行事に、北仙台幼稚園では各種行事に数名ずつ受け入れていただいています。幼稚園教諭や保育士を志望している(検討している)生徒にとっては、とても貴重な体験をさせてもらっています。ありがとうございます。



遊び相手にしかなかったり、いなくてもいいかもしれませんが、ボランティアに参加した生徒が、少しでも何かを感じ取ってくれたらと思います。

最終年度のドミニコの森

キャリアデザインコースリーダー 及川 俊浩
今年の三年生の卒業を持って、キャリアデザインコースの幕が下ろされます。したがって、本校独自の授業であった「ドミニコの森」も終了となります。この授業は社会の中で活躍している様々な方々を講師として招き、その職業や働き方などを学ぶものです。

自衛隊の方々の授業が七月に行われました。災害時の救助や海外派遣などの情報は私たちも知るところではありますが、自衛隊の仕事はそれ以外にも多岐にわたり、普段知ることが出来ない自衛隊について、その仕事について、学ぶことが出来る良い機会となりました。陸上・海上・航空それぞれに所属する自衛官に来ていただき、生徒からの質問にも答えていただきました。この授業は十二月まで行われます。この後も様々な分野で活躍する社会人の方々による授業が展開されます。



新任紹介

「新しい出会いに感謝」

主幹教諭兼三年一組副担任 佐藤 英明



昨年度まで県立高校に勤務しておりましたが、縁あって今年度より赴任することになりました。現在は、高校一、三年の数学の授業と年度途中からでしたら中学一年生の授業サポートをやっています。中学生の授業は、自分自身の教育実習以来で大変新鮮であり、高校生とは違った指導の難しさを体験するなど、今までになかった経験をさせてもらっています。

年齢とともに「毎日のルーティン」が変化することはストレスにもなりますが、変化のない生活からは「新たな創造」は生まれません。新たな取り組み

は自分にとつての負担にもなりますが、新しい出会いは楽しみを生み、自分自身を大いに成長させているように感じています。私自身は皆さんに、「数学」や「バドミントン」を通じて学校生活の楽しさを教えることができたと考えています。

これからの学校生活を私自身、大いに楽しみ、刺激を求め、若い皆さんからエネルギーを貰い、新たな挑戦をしたいと思います。これからもよろしくお願ひします。

「すべての出来事には時がある。」

(コレヘトの言葉3章1節)



二年一組副担任 小川 純子
迷いはかりの人生でしたが、神様から、「この職をやり抜け」と告げられた時は、こんな五十半ばになってからでした。だからこそ伝えられる想ひがあります。

「若者よ、あなたの若さを喜べ。若き日に、あなたの心を楽しませよ。心に適う道を、あなたの目に映るとおり歩め。」(コレヘトの言葉11章9節)

人は年齢に関係なく輝けます。しかし、若い頃にしか放てない眩しく美しい光があります。

夢を追い、ひたむきに努力し、夢叶う時、夢に届かぬ時がある。そんな時の中で、真っ直ぐな光を放ちながら、自分の人生を楽しんでほしい。そんな生徒たちを応援しながら、私もまた、自分の人生を楽しみたい、そんな思いでいっぺいです。そして、その眩しい光はやがて優しく温かな光に変わり、それは次の新しい光を灯す。そんな永遠の光のつながりを思うロマンチストな私ですが、数学はバリバリ指導しますので、よろしくお願ひします。

「ご縁に感謝」



三年二組副担任 菅原 怜央

今年度から赴任いたしました。た昔原怜央と申します。教科は社会科を担当し、部活動は剣道部の顧問です。昨年度までの二年間は公立中学校で勤務をしておりました。私が幼い頃から剣道を続けていたことや私の妹が本校の卒業生だったことなど、様々なご縁があり、勤務させていただく形になりました。剣道では学生時代に「日本一」という目標を

活躍するドミニコ生

掲げて活動をしてきました。今までの剣道人生で日本一を果たすことができませんでしたが、高いレベルで剣道を続けてきたことで、剣道の技術だけではなく日本一にはなれないことに気づくことができました。それは、普段の生活や礼儀など身の回りを整えるということです。経験をもとにして、ドミニコ学院剣道部としての「日本一」に少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っています。

今後、剣道部の生徒はもろんのこと、学校生活で接する生徒の皆さんにも今まで剣道を通じて学んだことを還元できるように接していきます。また、様々な人との出会いを大切にしていきたいと思っています。これからよろしくお願ひします。

【ドミニコ学院高等学校】

- 第三十一回宮城県高等学校バレーボール男子・女子選手権大会
男子 ベスト8
- 第二十一回日本バトントワリング選手権大会
宮城県大会
コンテストの部 中級 金賞
- 第四十四回仙台市私立立高等学校女子バレーボール春季大会
第3位 バレーボール部
スパイク賞 3年 及川 セナ
レシーブ賞 3年 大沼 未来
功績賞 3年 末永 友奈
- 第七十二回宮城県高等学校総合体育大会 バレーボール競技(女子)
女子 ベスト8
- 第二十八回宮城県私立立高等学校バレーボール選手権大会
女子の部 第1位
- 第四十二回仙台大学権ノ木会長杯争奪高等学校女子バレーボール大会
第2位
- 第四十七回ふれあい書道展
奨励賞 1年 竹野はるい
1年 早坂 歩未
- 令和五年宮城野書人会学生展
文芸堂賞 1年 竹野はるい
有隣堂表具店賞 1年 早坂 歩未
- 第七十五回全日本合唱コンクール 宮城県大会
銅賞 音楽部

高等学校生徒募集について

2024年度入学生の募集定員および入学試験概要は以下のとおりです。詳細は生徒募集要項で確認してください。

◆募集定員

課程・学科	全日制 ・ 普通科		
	特別進学コース	総合進学コース	未来探究進学コース
コ ー ス	35名 (男子・女子)	60名 (男子・女子)	60名 (男子・女子)
定 員	2023年度より共学化		2024年度より共学化

◆入学試験概要

試験区分	推薦入試	一般入試	
		A日程	B日程
試験日	2024年1月10日(水)	2024年1月30日(火)	2024年2月1日(木)
出願期間	2023年12月18日(月)～2024年1月4日(木) ※土・日・祝日は除く	2023年12月18日(月)～2024年1月22日(月) ※土・日・祝日は除く	
試験内容	・面接試験	・学力試験【国語・英語(リスニング含む)・数学】	
合格発表	2024年1月11日(木) (本校ホームページに合格者の受験番号を掲載)	2024年2月5日(月) (本校ホームページに合格者の受験番号を掲載)	

行事を通して

小学校校長 土井 智子



創立の集い、対面式、運動会、マリア祭、写生会、水泳教室、合宿、絵画展、ドミニコ祭り、一日入学……この半年の間に次々と学校の行事が行われました。中心となる上級生は、準備や運営に関わる子どもが多くなります。スクールバスで通学する児童が多いので、放課後に残って相談することもなかなかできません。係になった児童を中心に、限られた時間の中でアイデアを出し合い、話し合いを進める手際の

再び幼児教育へ

聖ドミニコ学院幼稚園 園長 京 けい子



五十年に及ぶ幼稚園生活を送っていた私が、縁あって聖ドミニコ学院幼稚園園長として招かれ、今年四月に幼児教育界に戻りました。が、モンテッソーリ教育を保育の柱としていることは、今まで取り組んだことがなく大変荷が重いものでした。そんな私を、学園のあちこちで見かけるマリア様のご像が「大丈夫」と語りかけているような感じがし、少し安心しました。幼稚園の経験は長い私ですが、聖ドミニコ学院

命を守る

北仙台幼稚園長 土井 浩喜



子供の痛ましい事故の報道を見るたびに胸が痛みます。朝元気で家を出た子が、事故に遭うなどということは、誰も予想すらしません。テレビや新聞で痛ましいニュースに接するたびに、どうしてこれらの事故は防ぐことができなかったのだろうと考えます。

幼稚園に通う年頃になると、どの子供も我が芽生え、自分のやりたいことに夢中になります。そのひたむきが、見ている者を楽

良さに感心させられることがしばしばあります。同時に、いろいろな想定をした上で計画を立て、子供の考えを引き出していかうと力を注ぐ教員の熱意を誇らしく思いました。毎年の行事は、構成メンバーが変わるので同じようなことにはなりません。前年度の反省を活かしつつ、子供たちが満足し成長できる機会となるよう、毎回知恵を出し合い、工夫を重ねていきます。「泥臭い」という表現がびつたり地道な作業です。要領よく、機械的に進めていけば時間も短縮でき、楽な面は多いのですが、今日の前にいる子供たちの特徴を考え、どんなところを伸ばしていきたいのか、どんな面に注意をはらわなければならないかを考えると、練り直しが求められます。学校行事に対する考え方は、時代と共に変

幼稚園は私にとって新しい教育の始まりです。二年のブランクの不安は子どもたちが解いてくれました。登園して来た子どもと共に「明るく、強く、正しい心で」と祈るとき身が引き締まります。「園長先生、鬼っこしよ」と誘われた時、あー、仲間にしてもらえた、年なんて関係ないんだ、と喜びで満たされます。私にとって未知のモンテッソーリ教育のお仕事に取り組み子どもたちの輝きに、やらされているのではない、自らの意思と意欲を持って取り組んでいるのだと納得させられました。そして、子どもたちのために環境を整え、声を荒げることなく子どもたちと丁寧に向き合う保育者に感動を覚えていきます。私が今まで主張してきた保育方法とは異なりますが、教育に対する熱意は同じと感じています。

小ささなのですが、夢中になりすぎて周りに目がいかなくなるのもこの時期の大きな特徴です。パツと閃いて即行動に移すことは、時に大きな危険が伴うことを、周りの大人は把握して、時には厳しく制御する必要があります。「命を守る」ために、言って聞かせるだけではなく、駄目だと明確に示すことも、大人の大切な役割です。例えばスライパーの店内や教室の中を走り回ることを見逃していると、道路への急な飛び出しにつながるかもしれません。善悪の判断がしっかりできるようにするためには、日常の生活を大切に、細やかな目配りと声をかけを繰り返していくことが求められます。それは、本当に根気がいります。どうしてわかってくれないのだろうか、途方に暮れることもあります。

わかってきます。以前は教師が主導して進めることが多くありましたが、今は子供たちの主体性を重視し、考えさせて取り組ませるようになりまし。その行事を通して、どのように子供が成長したかが、行事を行う上で最も大切な視点となりました。出来ないことに悩みなが、仲間と協力しやり遂げた時、子供たちは誇らしい表情で応えてくれます。それを見るのができるのが、教師の醍醐味とも言えます。



ます。きっと、私の経験が違った角度で役立つこともあると思っております。聖ドミニコ学院幼稚園は、幼小中高の一貫教育。緑に囲まれた敷地の中にあり、幼児だけではなく、学校に通う生徒さん方がいることに何故か落ち着きます。少し前まで幼稚園人気は高く、入るのに並ぶという時代もありましたが、今は共働き家庭が増え、保育に特化した幼稚園・保育園を選ぶ親御さんが増えました。その中であって、園児募集には苦労しますが、どんな時代にあっても、いろいろな工夫をしながら保育の質を高め、教育の神髄を貫き、今あることに誇りを持って、教職員一同心を合わせて子どもたちのためにありたいと、決意を新たにしているところです。

す。この時期に、しっかりとした価値観の根っこになる部分を育てるために、労力と時間を費やすことを厭うては子供の教育は成り立ちません。不可抗力ともいえる事故はたくさんあります。どんなに気を付けていても、人の力では防ぎきれないこともたくさんあります。けれども、子供たちが毎日元気な笑顔で浮かべられるように、細心の注意と確かな指導を続けていきたいと思っています。



幼稚園 募集について

聖ドミニコ学院幼稚園

二〇二四年度(令和六年度)

園児募集日程

- 願書配布開始 十月 三日(火)
- 入園説明会 十月 十一日(水)
- 体験入園 十月 十三日(月)
- 体検入園 十月 十五日(水)
- 願書受付・面接 十一月 一日(水)

園児募集について

- 満三歳児(四年保育) 一五名
- 二〇二二年(令和三年)四月二日
- 二〇二二年(令和四年)四月二日
- 三歳児(三年保育) 一〇名
- 二〇二〇年(令和二年)四月二日
- 二〇二二年(令和三年)四月二日
- 四歳児(二年保育) 一五名
- 二〇一九年(令和一年)四月二日
- 二〇一九年(令和二年)四月二日
- 五歳児(一年保育) 若干名
- 二〇一八年(平成三十年)四月二日
- 二〇一九年(平成三十二年)四月二日
- 二〇一九年(平成三十二年)四月二日
- 入園願書受付 十一月 一日(水)

七時三〇分

〈場所〉聖ドミニコ学院幼稚園

※西門からお入りください。

〈提出物〉入園願書・家族写真・検定料(五千円)・入園前の状況調査

〈入園面接〉親子面接(〇分程度)

〈入園手続き〉入園許可となつた方は、入園料(無償化に相当)教育充実資金(三万円)を収めていただきます。

〈用品注文〉カバン・上靴・お道具等

※詳しくは、募集要項をご覧ください。

幼稚園 募集について

聖ドミニコ学院北仙台幼稚園

二〇二四年度(令和六年度)

園児募集日程

- 願書配布開始 十月 三日(火)
- 入園説明会 十月 七日(土)
- 見学会 十月 十四日(水)
- キッズフレイター 十月 十七日(火)
- アニマルランド 十月 二十日(金)

園児募集について

- 三歳児(三年保育) 四十名
- 二〇二〇年(令和二年) 四月二日
- 二〇二二年(令和三年) 四月二日
- 四歳児(二年保育) 若干名
- 二〇一九年(平成三十二年)四月二日
- 二〇二〇年(令和二年) 四月二日
- 五歳児(一年保育) 若干名
- 二〇一八年(平成三十年)四月二日
- 二〇一九年(平成三十二年)四月二日
- 入園願書受付 十一月 一日(水)
- 正面玄関からお入りください。
- 九時〜十時
- 〈提出物〉入園願書・検定料(五千円)・家庭状況調査票等
- 〈入園面接〉十一月 一日(木)
- 親子面接八時三〇分〜十分程度
- 正面玄関からお入りください。
- 〈入園手続き〉入園許可となつた方は、入園料(無償化に相当)教育充実資金(三万円)を収めていただきます。
- 〈用品注文〉カバン・上靴・お道具等
- ※詳しくは、募集要項をご覧ください。